

地域とクロスメディアの連携による新しいビジネスモデルを構築

ワンセグを核とした秋葉原クロスメディア・プロジェクト

新しいビジネスモデル・地域活性化による雇用創出・地域防災・・・etc



本ホワイトスペース特区では、ワンセグ局を中心としたネットワークの構築と付随したビジネスモデルをご提案いたします。

- 地域活性化という大きなコンセプト・見地から、**地域からの情報発信が必要不可欠**です。その最適なメディアとしてエリアワンセグが考えられます。
- 情報を効果的に配信するためには、無差別に広範囲へ向けて配信するのではなく、より**費用対効果のあがるピンスポットエリアに向けた、密度、訴求力の高い方法で配信**する必要があると考えられます。
- また、コストを最低限に抑えるための仕組みを形成するには、民放、CATV等既存メディア(**既存インフラ**)との**連携**と、今後全国に誕生すると推測されるワンセグ局、その他の**メディアとのネットワーク、インターネット**関連メディアの活用、さらには、**紙媒体**メディアまでもが連携することが最良と考えています。
- さらに、コンテンツのクオリティを重視するとともに、制作したコンテンツを蓄積・保管・共有し、再利用できる仕組みが必要であると考えます。この課題を解消するため、「**コンテンツプールシステム(仮称)**」の**構築運営**も併せてご提案いたします。コスト削減の見地からもデータセンターは既存インフラを活用する計画です。
- 本プロジェクトを円滑に運営・遂行するため、地元関係団体、既存メディア、**関連団体でプロジェクトチームを組成**いたします。

「ホワイトスペース特区」秋葉原エリア実証実験における放送及び通信、データセンター等の構成要素は下記の通りです。それぞれ連携した運用を行い、多面的な効率化と新たな付加価値を創出します。このほか、雑誌等の紙媒体との連携も行います。

ワンセグ放送

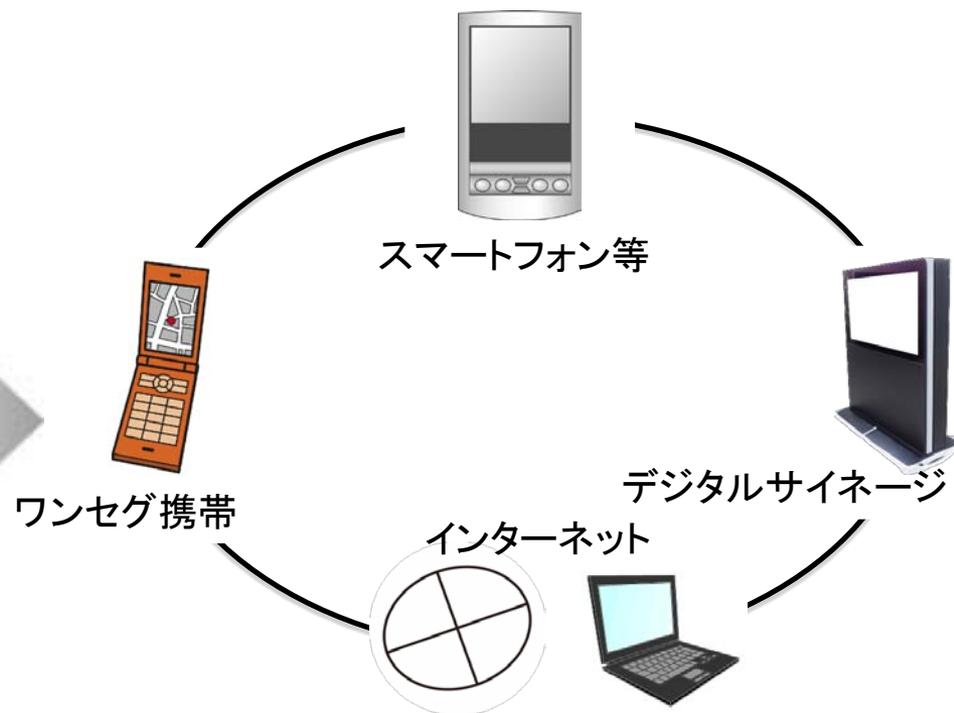
バラセグ・東セグ放送

Wi-Fi通信

IP高速通信

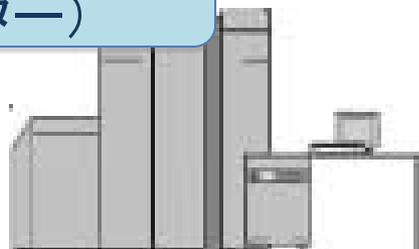
コンテンツプールシステム
(データセンター)

配信



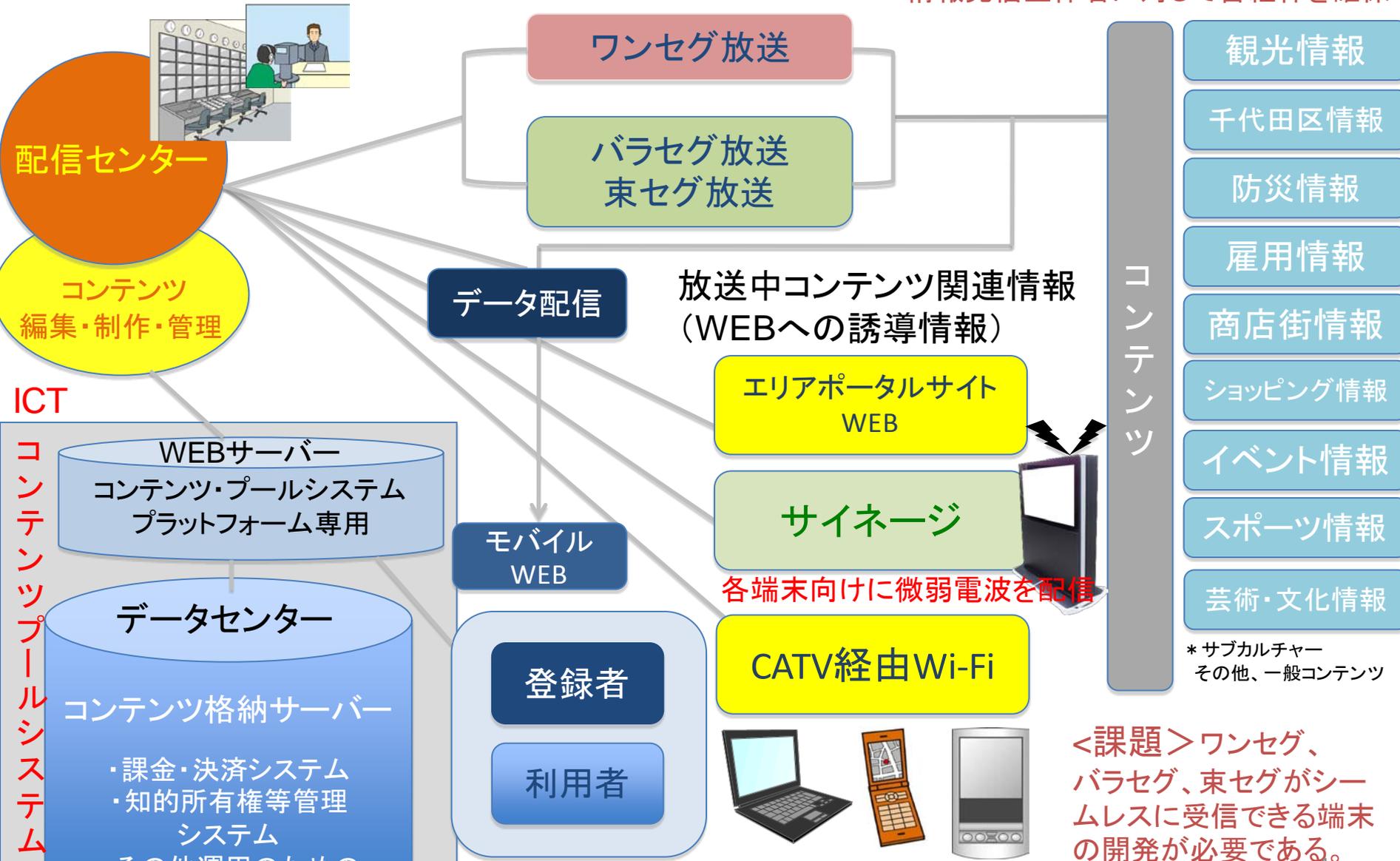
ICT／主としてコンテンツの共同利用

コンテンツの集積・配信・知的所有権管理・
課金・決済等



実証実験実施エリア: JR秋葉原駅周辺及び秋葉原中央通り周辺(東京都千代田区)

情報発信主体者に対して番組枠を確保



配信センター

コンテンツ
編集・制作・管理

ICT

コンテンツプールシステム

WEBサーバー
コンテンツ・プールシステム
プラットフォーム専用

データセンター
コンテンツ格納サーバー

- ・課金・決済システム
- ・知的所有権等管理システム
- ・その他運用のための必須システム

ワンセグ放送

**バラセグ放送
東セグ放送**

データ配信

**放送中コンテンツ関連情報
(WEBへの誘導情報)**

エリアポータルサイト
WEB

サイネージ

各端末向けに微弱電波を配信

CATV経由Wi-Fi

モバイルWEB

登録者

利用者

コンテンツ

観光情報

千代田区情報

防災情報

雇用情報

商店街情報

ショッピング情報

イベント情報

スポーツ情報

芸術・文化情報

* サブカルチャー
その他、一般コンテンツ

<課題> ワンセグ、バラセグ、東セグがシームレスに受信できる端末の開発が必要である。

コンテンツ流通の活性化(ビジネス化促進)

ネットワーク
形成

コンテンツプールシステム

編集制作・知的所有権・内容検収
その他、メタ情報等コンテンツ管理

メタ情報による強力な検索システムを
付加(ネットワークサーバーを含む)

<課題>

制作・編集現場におけるメタ情報
付与の標準化が必要である。

コンテンツ利用者

コンテンツ情報を一カ所に集め、
管理・保管、及び共同利用をする。

WEBサーバー
コンテンツ・プールシステム
プラットフォーム専用

データセンター

コンテンツ格納サーバー

- ・課金・決済システム
- ・知的所有権等管理システム
- ・その他運用のための必須システム

他者保存
コンテンツ
サーバー

コンテンツ登録者

ワンセグ局・CATV・民間放送局

コンテンツプロダクション

映画会社

自治体

劇団

一般企業

スポーツ団体

一般個人

教育機関

その他

医療機関

バックアップ
サーバー

プロジェクト推進ロードマップ(2年間のうちの6ヶ月)

		準備期間 (3ヶ月)	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目
ワンセグ事業	採 択	構築・告知	ワンセグ放送開始		
IP放送事業		IP放送システム構築 および告知	IP放送開始		
ICT事業		コンテンツプールシステム開発	実証開始		

プロジェクト運営組織

本プロジェクトを円滑に遂行するためにプロジェクトチームを組成します。秋葉原の商業振興団体4者、地元商工関連団体、CATV、システム、制作会社、エンタテインメント、コンサルタント、デジタルサイネージ、旅行代理店(通訳翻訳含む)、法務(知的所有権)、会計など十数社で構成 ※本プロジェクトスタート時に正式組成。

クロスメディアと東京ワンセグ放送株式会社の基本理念

東京ワンセグ放送は、エリアワンセグ放送を核とした地域密着型メディアを目指し、準備を進めています。放送と通信の融合する時代において、地域参加型の新しいビジネスモデルを構築するとともに、国内にとどまらず広く地域情報を世界に発信、地域への誘導を促し、今回の秋葉原地区の実証実験モデルを、スタッフ全員一丸となって成功させ、全国各地のモデルとなるよう日々精進するところです。